オーディオ・テレビ

オーディオ・テレビの基本操作

オーディオをON/OFFする

1 PUSH ON・OFFスイッチを押す

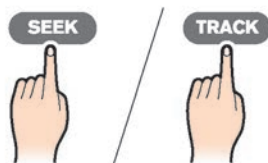
スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。オーディオをONにすると画面にオーディオ情報が表示されます。

音量を調節する

1 VOLスイッチを回す

画面上に音量調整用バーグラフが表示されます。

曲送り／曲戻しをする

1 SEEK／TRACKスイッチを押す（※1）

（※1） SEEK／TRACKスイッチを長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りをします。

オーディオの設定をする

1 設定スイッチを押す

オーディオを選ぶ(※1)

2 項目を選んで設定する(※2)

BASS：
－または＋を選んで低音を調整します。

TREBLE：
－または＋を選んで高音を調整します。

BALANCE：
LまたはRを選んで左右の音量バランスを調整します。

FADER：
RまたはFを選んで前後の音量バランスを調整します。

SRS CS Auto★(※3)：
オフ、シネマ、ミュージックのモードが選択できます。

車速連動ボリューム★(※4)：
－または＋を選んで効果幅をオフ（0）～5（効果大）の範囲で設定できます

Driver's Audio Stage★(※5)：
Driver's Audio Stage★のON/OFFを設定します。

Bose® AUDIOPILOT™★(※6)：
Bose® AUDIOPILOT™★のON/OFFを設定します。

Bose® Centerpoint®★(※7)：
Bose® Centerpoint®★のON/OFFを設定します。

サラウンド音量★：
サラウンドスピーカーからの音量を調整します。

DivX機器登録認証番号：
DivXの有料ファイルなどのダウンロードサービスを利用する際に必要な機器の登録コードを確認します。USBメモリやディスクが接続されているときは表示されません。

ジャケット写真表示：
ジャケット写真の画像ファイルがあるメディア再生時の、画像ファイル表示のON/OFFを設定します。

知識

(※1) TUNE/FOLDER／PUSH SOUNDスイッチを押してもオーディオの設定ができます。

(※2) 車種により、オーディオの設定をインテリジェントキーごとに呼び出すことができます。

(※3) SRS CS Auto™とは、Circle Surroundデコーダによる車載用に特化したサラウンドシステムです。リヤスピーカーを接続している場合（4ch、4.1ch）、4スピーカーのままでも5.1chサラウンドに相当する音場を再現できます。
SRS(●) CS Autoは、SRS Labs. Inc.の商標です。
CS Auto技術は、SRS Labs. Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

(※4) 車速連動ボリュームとは、車の速度とともに大きくなる騒音で音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。

(※5) Driver's Audio Stage★とは運転席専用の音響設定となり、運転席ではよりクリアで 臨場感のある音にする機能です。

(※6) Bose® AUDIOPILOT™とは車内に設置されたマイクで車内全体の音(音楽とノイズ)をリアルタイムにモニターして、ノイズによってマスキングされた音楽成分のみを自動的に補正する機能です。

(※7) Bose® Centerpoint®★とは、CDやMusic Boxなどのステレオ音源を、より臨場感のある音で再生する機能です。

ラジオをきく

ラジオをきくには

FM・AM スイッチを押して、ラジオ操作画面を表示させます。スイッチを押すごとにモード・ソースが切り替わります。

■ ラジオ操作画面の見かた

① **現在のオーディオモード**
FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.P、のいずれかが表示されます。

② オートプリセット
プリセットリストを更新します。プリセットリストを更新するときは、現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。オーディオモードがFM AUTO.PまたはAM AUTO.Pのときのみ表示されます。

③ メニュー
設定画面が表示されます。

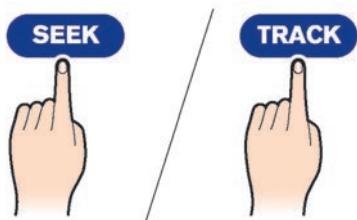
④ **プリセットリスト**
放送局名または周波数が表示されます。

⑤ **重複表示**
同じ地域に同一周波数の放送局が複数あるときに表示されます。選ぶごとに、放送局が切り替わります。

放送局を選ぶ・登録する

■ 放送局を選ぶ

● 自動で選局をする

1 SEEK／TRACKスイッチを押す

自動的に感度の良いチャンネルを受信して表示します。

● 手動で選局をする

1 TUNE/FOLDERスイッチを回す

1ステップずつ周波数が変わります。

● 登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）（※1）

1 PROG AUTO.Pスイッチを押す

PROG AUTO.Pを押すごとにプリセットリストが切り替わります。

2 プリセットリストから放送局を選ぶ

選択した放送局に設定されます。

（※1）
- メニュー→プリセットリスト切替を選んで切り替えることもできます。
- プリセットスイッチ1～6を押しても、プリセットリストに表示された番号の放送局名に切り替えることができます。

テレビ・オーディオ

■ 放送局を登録する

● 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 FM・AMスイッチを押し、登録したい放送局を選局する

2 1〜6スイッチのうち、放送局を登録したい番号のスイッチを長押しする(※1)

「ピッ」という音がして、登録されます。

● 自動で登録する（オートプリセット）

1 PROG AUTO.Pスイッチを長押しする

自動選局を開始します。（「ピッ」という音がしてメッセージが表示されます。）登録が終了するとオートプリセットモード（ソース）画面に切り替わります。

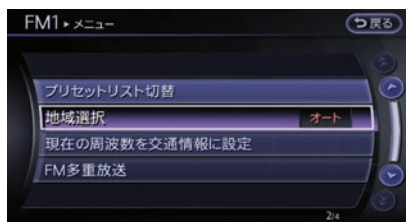
- 受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。

(※1)
- プリセットリストをタッチし続けても同様に登録することができます。
- FMを登録する場合は、FM・AMスイッチを押して登録したいプリセットリスト（FM1またはFM2）を選んで登録します。

ラジオメニューを使う

ラジオ操作画面を表示中に、いろいろな設定をしたり情報を表示したりできます。

1 メニューを選ぶ

2 操作したい項目を選ぶ

プリセットリスト切替：
プリセットリストを切り替えます。

地域設定：
選んだ地域の放送局名を表示します。

現在の周波数を交通情報に設定：
今聞いている周波数を交通情報に登録します。

FM多重放送：
FM放送局の文字情報を表示します。

交通情報をきく

1 ･))スイッチを押す

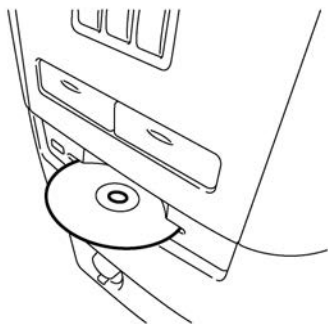
交通情報を受信します。

CDをきく

ディスク挿入口

ディスク挿入口は車両により異なります。

エルグランド

ディスク挿入口はカップホルダー（インスト部）の下にあります。

その他の車種

ディスク挿入口はコントロールパネルのオーディオ操作部にあります。

各部の名称と機能…p.14

CDを再生するには(※1)

ディスクを入れるときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してください。

1 ディスクを入れる

ディスクを読み込み、自動的に再生が始まります。

2 ディスクを取り出す

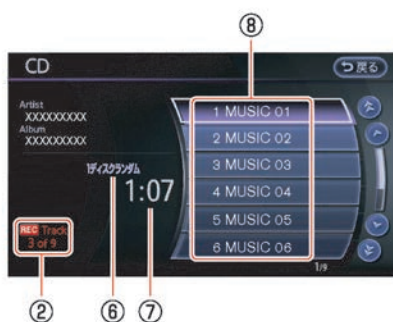
挿入口の横にあるスイッチを押すと、ディスクが排出されます。
排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能により、ディスクが再び引き込まれます。

知識

(※1)
- マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMA/AACディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）
- すでにディスクが入っている場合はCDの曲情報画面が表示されるまでDISCスイッチを押してください。

CD操作画面の見かた

曲情報画面

トラック選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **録音曲数**
CDの録音中に表示します。

③ 全曲録音／録音停止
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

④ メニュー
プレイモードの選択やCD録音の設定などをします。

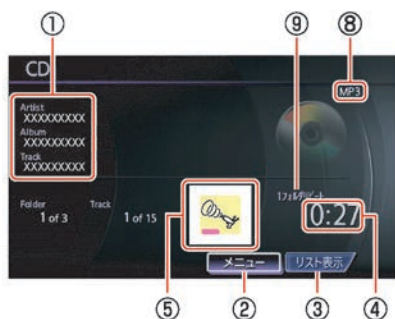
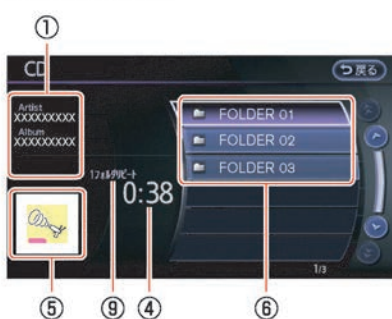
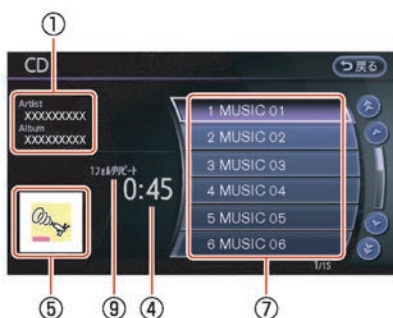
⑤ リスト表示
トラック選択画面を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑧ **トラックリスト**
トラックリストを表示します。

MP3/WMA/AAC操作画面の見かた

曲情報画面

フォルダ選択画面

ファイル選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② メニュー
プレイモードの選択をします。

③ リスト表示
フォルダ選択画面を表示します。フォルダが1つの場合は、ファイル選択画面を表示します。

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑥ **フォルダリスト（フォルダ選択画面）**
フォルダのリストを表示します。

⑦ **ファイルリスト（ファイル選択画面）**
ファイルのリストを表示します。
フォルダリストから選択して表示します。

⑧ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットを表示します。

⑨ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

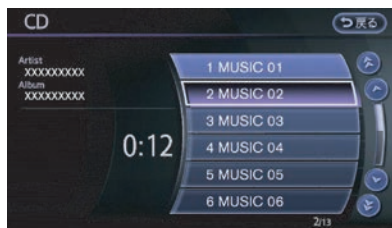
選曲する

再生中に聞きたい曲を画面から選択します。

■ CD操作画面のリストから選曲する

1 曲情報画面を表示する

リスト表示を選ぶ

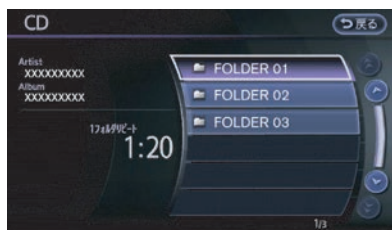
2 聞きたい曲を選ぶ

選んだ曲が再生されます。

■ MP3/WMA/AAC 操作画面のフォルダから選曲する

1 曲情報画面を表示する

リスト表示を選ぶ

フォルダ選択画面が表示されます。

2 聞きたい曲の入っているフォルダを選ぶ

ファイル選択画面が表示されます。

3 聞きたい曲をタッチする

選んだ曲が再生されます。

プレイモードを切り替える

再生モードを切り替えます。

1 曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

Music Box設定画面が表示されます。

2 プレイモード切替を選ぶ

プレイモード切替画面が表示されます。

3 設定したいプレイモードを選ぶ

ONが点灯し、プレイモードが設定されます。

テレビ・オーディオ

ミュージックボックスを使う

CDの録音をする

■ ハードディスクの容量について

収録可能曲数は、1曲4分、収録可能アルバム数は1枚10曲で換算した場合の数値です。

録音品質	132kbps時	105kbps時
録音可能曲数	約2,400曲	約3,000曲
録音可能アルバム数	約240枚	約300枚

■ 自動で録音する(※1)

1 CDを挿入する

自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始します。（オーディオモード時）
録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。

(※1) 自動で録音するには、全曲自動録音するの設定がONになっている必要があります。初期設定は、全曲自動録音するの設定がONになっています。

CD録音の設定をする…p.135

■ 曲を選択して録音する(※1)

1 CDを挿入する

メニュー → 曲を選択して録音するを選ぶ

2 曲を選んで録音開始を選ぶ

(※1) 手動で録音するには、全曲自動録音するの設定がOFFになっている必要があります。ONの場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

■ 録音を停止する(※1)

録音を途中で停止することができます。

1 録音停止を選ぶ

録音終了のメッセージが表示され、録音が停止します。

(※1) 録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。再度録音を開始すると、現在再生中の曲から開始します。

CD録音の設定をする

CD再生時、Music Boxに再生したデータが収録されていない場合、自動録音の設定ができます。

1 曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 Music Box設定 → 全曲自動録音するを選ぶ

選ぶごとに全曲自動録音のON/OFFが切り替わります。

ON（点灯）：自動録音にします。
ON（消灯）：手動録音にします。

タイトル取得の優先設定をする

CD再生時または録音時にどのタイトル情報を使用するか設定します。

1 曲情報画面を表示する

メニュー → タイトル取得の設定をするを選ぶ

2 タイトル情報の取得先を選ぶ(※1)

CDDB :
Gracenoteデータベースで検索されたタイトル情報を使用します。

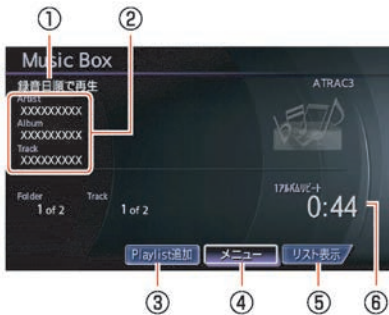
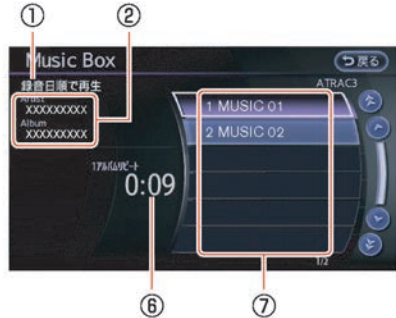
CD-TEXT :
CDに記録されているタイトル情報を使用します。

知識

(※1) タイトル情報がどちらか一方しかない場合、設定にかかわらず存在するタイトル情報を使用します。

ミュージックボックスを再生する

DISC スイッチを押すとMusic Box操作画面が表示されます。押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

■ ミュージックボックス操作画面の見かた

曲情報画面

① **再生方法**
再生方法を表示します。

② **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

③ Playlist追加
再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加します。

④ メニュー
プレイモードの選択をします。

⑤ リスト表示
アルバム選択画面またはトラック選択画面を表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑦ **リスト**
アルバムリストまたはトラックリストを表示します。アルバム名、曲名を選んで再生する曲を選ぶことができます。

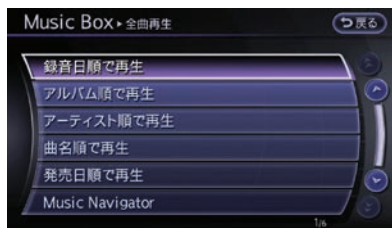
■ ミュージックボックスの再生を設定する

● 全曲再生で再生順を変える

1 Music Box曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 全曲再生を選ぶ

3 再生順を選ぶ

録音日順で再生：
録音日時順に全曲を再生します。

アルバム順で再生：
アルバム順に全曲を再生します。

アーティスト順で再生：
アーティスト順に全曲を再生します。

曲名順で再生：
曲名順に全曲を再生します。

発売日順で再生：(※1)
発売年が新しい順に全曲を再生します。

Music Navigator：(※2)
走行シーンにマッチした曲を再生します。
Navigator登場頻度がONの場合は、ランダムにシチュエーションにマッチしたDJのセリフが、曲と曲の間に入ります。

知識

(※1) 同じ年に発売された楽曲は、Music Boxに録音した日が新しい順に再生します。

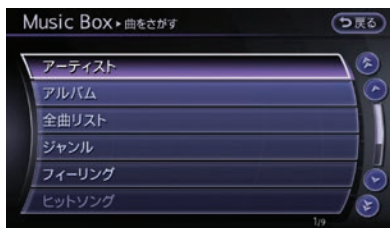
(※2) 自動再生中でも走行時の状況にあった曲が再生されない場合があります。

● 再生方法を選ぶ

1 Music Box曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 曲をさがすを選ぶ

3 選曲方法を選ぶ

アーティスト:
アーティストを選んで再生します。

アルバム:
アルバムを選んで再生します。

全曲リスト:
録音されているすべての曲から選曲できます。

ジャンル:
ジャンルを指定して選曲できます。

フィーリング:
明るい曲、いやされる曲、せつない曲、ノリノリな曲の一覧から選曲できます。

ヒットソング:
過去にヒットした曲や今ヒットしている曲を選曲できます。

子供向けの曲:
童謡や子守歌、子供の歌番組で紹介された曲などを選曲できます。

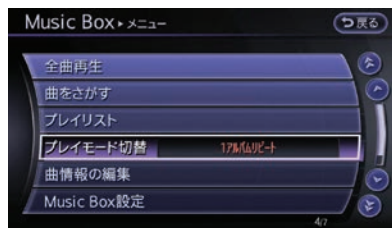
よく聴く曲:
よく聴く曲から順番に再生します。

再生が少ない曲:
再生回数の少ない曲を順番に再生します。

■ プレイモードを切り替える

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 プレイモード切替を選ぶ

3 お好みのプレイモードを選ぶ

選曲方法により選べるプレイモードが異なります。

全リピート：
全曲を繰り返し再生します。

1アルバムリピート：
1アルバムを繰り返し再生します。

1トラックリピート：
同じ曲を繰り返し再生します。

1アルバムランダム／1アーティストランダム：
1アルバムまたは1アーティスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

全トラックランダム：
全曲を自動的に順番を変えて再生します。

1グループランダム／1ジャンルランダム／1プレイリストランダム：
1グループまたは1ジャンルまたは1プレイリスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

曲タイトル情報を取得する

市販の音楽CDを挿入すると、HDD内のタイトル情報データベースを元にタイトル情報を取得します。また、HDD内のデータベースに情報がない場合は、手動で取得することができます。

まれに、実際のタイトルと異なる場合があります。また、新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。

■ 取得できるタイトル情報

- アルバムタイトル及び読み
- トラックタイトル及び読み
- アルバムのアーティスト及び読み
- トラックのアーティスト及び読み
- アルバムのジャンル
- トラックのジャンル
- アルバムの発売年

■ タイトル情報を取得するには

HDD内にタイトル情報データがある場合

市販の音楽CDを挿入すると、タイトル情報が表示されます。

HDD内にタイトル情報データがなかった場合

タイトル情報が表示されない場合は、以下の3つの方法でタイトル情報を取得できます。

- **携帯電話を使用してタイトル情報を取得する:**
  一番かんたんにタイトル情報を取得できます。（別途料金がかかります）
- **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する:**
  パソコンの使いかたに詳しい方にお勧めです。
- **手動でハードディスクからタイトル情報を更新する:**
  全国地図更新を行った後に、ご使用していただくと便利です。

■ 携帯電話を使用してタイトル情報を取得する

携帯電話を使用して、インターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

アドバイス

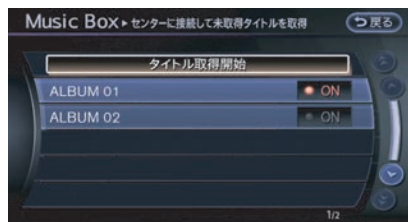
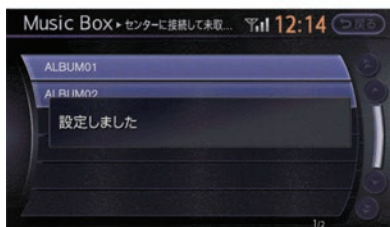
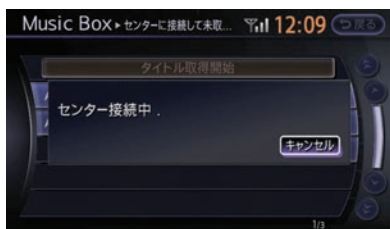
- 携帯電話の通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- データ通信中は、本機と携帯電話の接続を解除しないでください。

データを取得するには、はじめに本機と携帯電話を接続する必要があります。

携帯電話を接続する…p.47

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニュー → 曲情報の編集 → センターに接続して未取得タイトルを取得を選ぶ

2 タイトル未取得のアルバムまたは録音日を選ぶ

3 タイトル取得開始を選ぶ

画面に「設定しました」のメッセージが表示されたら完了です。

■ USBメモリを使用してタイトル情報を取得する

お持ちのパソコンを使用して、タイトル情報を取得します。

まずはUSBメモリとパソコンを使用してタイトル情報を取得する前に以下の準備をします。

● 準備するもの

① **USBメモリ**
本機にはUSBメモリが装備に含まれておりませんので、お客さまご自身でご用意ください。
ご使用できるUSBメモリの条件は以下になります。

- High Speed対応メモリ
- ファイルシステム： FAT16、FAT32
- 最大メモリサイズ： 4GB
- セクタサイズ： 512B
- クラスタサイズ： 1kB～32kB

- 最低空き容量： 10MB以上
- パーテーション： 単一パーテーション

この条件に当てはまらないUSBメモリをご使用した場合、正しく動作しないことがあります。

② **専用ソフト「タイトル情報サーチ」**

お持ちのパソコンを使用して、専用サイトにアクセスし、マニュアルとソフトウェアをダウンロードします。

（http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm）

※ Webサイトのアドレスは都合により、変更させていただく場合があります。

タイトル情報サーチマニュアル

タイトル情報サーチアプリケーション画面

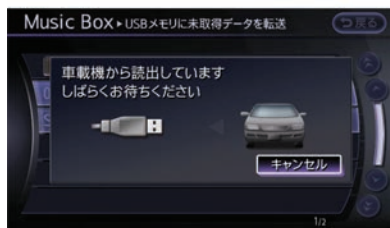
● 手順1：本機から未取得データを転送する

1 車に**USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.147

2 **Music Box** 曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → USBメモリに未取得データを転送を選ぶ

3 タイトル未取得のアルバムを選び、USBへ転送を選ぶ

データが転送されます。「保存しました」とメッセージが表示されたら、USBメモリへの転送は完了です。USBメモリ内に“export.dat”というファイルができます。

テレビ・オーディオ

● 手順2：パソコンでタイトル情報を取得する

1 **USBメモリをパソコンに接続する**

未取得データ（export.dat）を取り込んだUSBメモリをお持ちのパソコンに接続します。

2 「タイトル情報サーチ」を使用してデータを取得する

詳しい操作方法については、専用サイトのマニュアルをご覧ください。

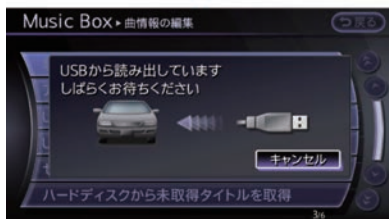
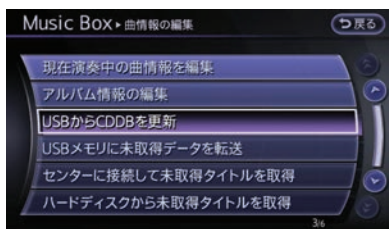
● 手順3：本機のハードディスク内の曲情報を更新する

1 車に**USBメモリ**を接続する

USBメモリの接続位置…p.147

2 **Music Box** 曲情報画面を表示する

（メニュー）→（曲情報の編集）を選ぶ

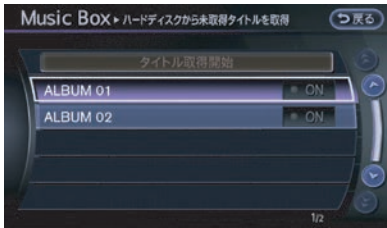
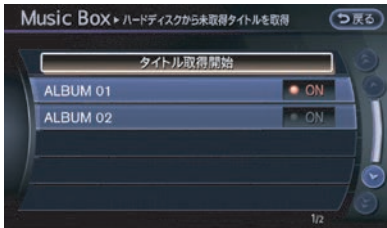
3 （USBからCDDBを更新）を選ぶ

データが転送されます。データの転送が完全に終了するまで、USBメモリをコネクタから抜かないでください。
「USBから読み出しが完了しました」とメッセージが表示されたら、タイトル情報の取得は完了です。

■ 手動でハードディスクからタイトル情報を取得する

全地図更新を行うと、HDD内のタイトル情報データベースも新しく更新されます。全地図更新を行った後に、この機能をご使用いただくと便利です。

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

（メニュー）→（曲情報の編集）→（ハードディスクから未取得タイトルを取得）を選ぶ

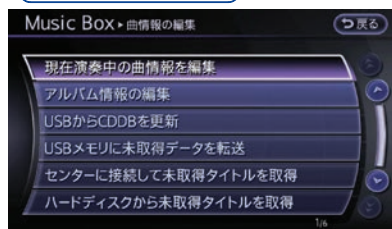
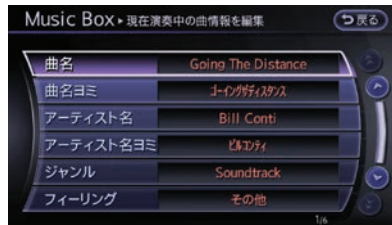
2 タイトル未取得のアルバムまたは録音日を選ぶ

3 タイトル取得開始 を選ぶ

HDDのデータベースからタイトル情報の取得を開始します。

ミュージックボックスを使いこなす

曲情報を編集する

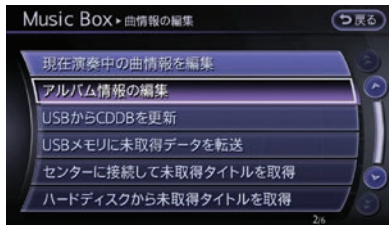
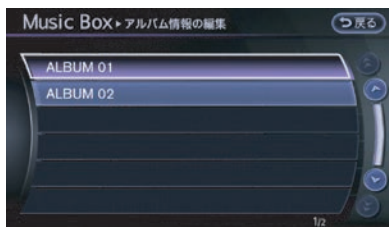
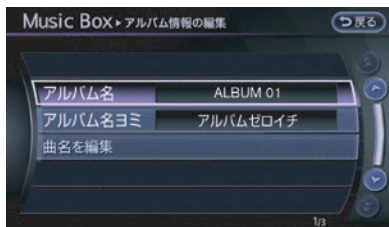
■ 演奏中の曲情報を編集する

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニュー → 曲情報の編集 → 現在演奏中の曲情報を編集を選ぶ

2 編集したい項目を選ぶ

文字／数字の入力のしかた…p.32

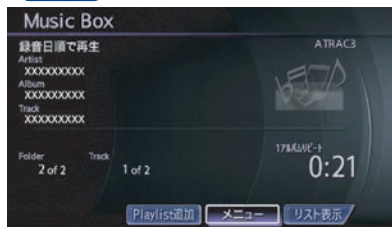
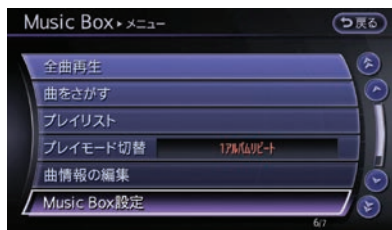
■ アルバム情報を編集する

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニュー → 曲情報の編集 → アルバム情報の編集を選ぶ

2 編集したいアルバムを選ぶ

3 編集したい項目を選ぶ

文字／数字の入力のしかた…p.32

ミュージックボックスの設定をする

1 Music Box曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 Music Box設定を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

以下の設定をすることができます。

ハードディスクの空き容量を表示する：

ミュージックボックス容量情報が表示されます。

フィーリングモードの情報を表示する：

登録されているフィーリングモードの情報を表示します。

全曲自動録音する：

CDを入れたときに、自動で録音するように設定できます。

音楽を消去する：

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

録音品質を設定する：

録音品質を設定します。

録音時のCDDB自動オンライン設定：

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。

Navigator登場頻度：

数曲に1回、ランダムにシチュエーションに応じたDJのセリフが入ります。

CDDBのバージョンを表示する：

Gracenote データベースのバージョンを表示します。

BeatJam® を使う

同梱のアプリケーションソフト「BeatJam®」を使って、パソコンから本機に音楽ファイルを転送したり、本機からパソコンに録音した音楽ファイルをバックアップできます。転送およびバックアップ方法は、パソコンでBeatJam®のヘルプ内にある「BeatJam®の使いかた」をご覧ください。

「BeatJam®」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

■ 転送できる音楽ファイル

- 最大転送曲数：65,535曲

  （ただし、この曲数に達していなくてもハードディスクの空き容量がなくなった場合は転送ができなくなります。）
- 最大転送プレイリスト：5つまで

  （1つのプレイリストに含むことのできる最大曲数は999曲）

■ ファイルを転送する

注意

BeatJam®の操作は、安全のため必ず車を停止させて行ってください。

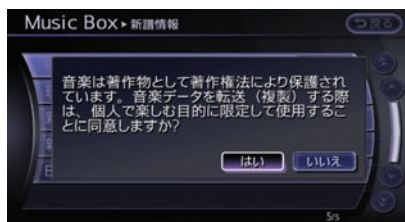
アドバイス

- BeatJam®に転送した音楽ファイルは本機には残りません。BeatJam®に転送した音楽ファイルを、再び本機に戻すことができます。

- USB2.0対応のパソコンをご使用ください。
- 接続には別売りのBeatJam®接続用ケーブルをお使いになることをお勧めします。
- ファイル転送中はカメラシステムを使うことができません。

1 Music Box曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 新譜情報 → BeatJam → はい を選ぶ

ナビが再起動します。

3 パソコンを接続する

ファイルを転送します。転送中はエンジン（ガソリン車）またはハイブリッドシステム（ハイブリッド車）を停止させたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。(※2)

データの転送が終了したらメッセージが表示されます。確認して画面をタッチすると再起動し、ファイルが更新されます。

USBメモリを使う

USBメモリに収録された音楽ファイル、映像データ、写真データを再生することができます。

再生できるフォーマット

- 映像ファイル - DivX、MPEG4（ASF）
- 写真データ - JPEG
- 音楽ファイル - MP3、WMA、MPEG4-AAC

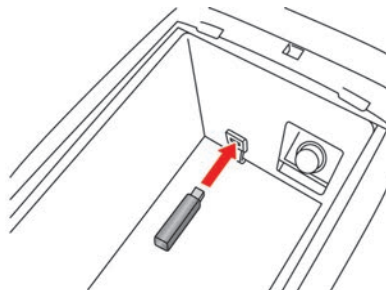
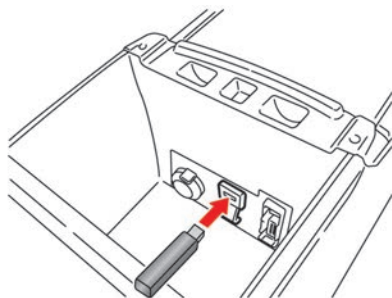
USBメモリは本体に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。また、USBメモリには一部対応していない機種があります。

USBメモリについて…p.350

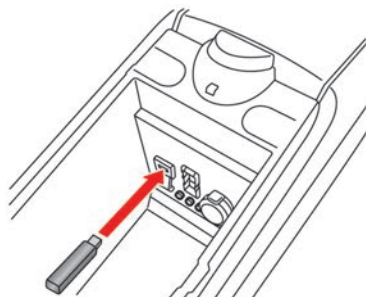
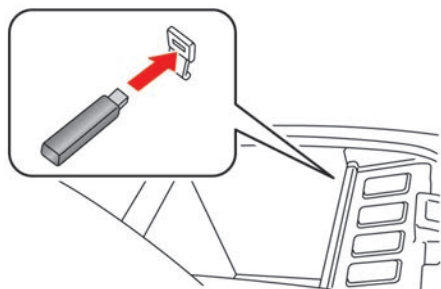
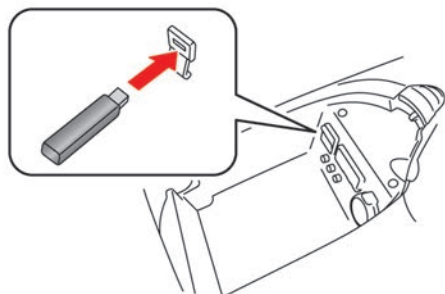
USBメモリの接続位置

USBコネクタの位置はセンターコンソールボックス内にあります。

●エルグランド

●ムラーノ

●フーガ、フーガハイブリッド

●スカイライン、スカイラインクーペ

※イラストはオートマチック車です

●スカイラインクロスオーバー

●ティアナ

●フェアレディZ

USBメモリの音楽または映像データの再生をする

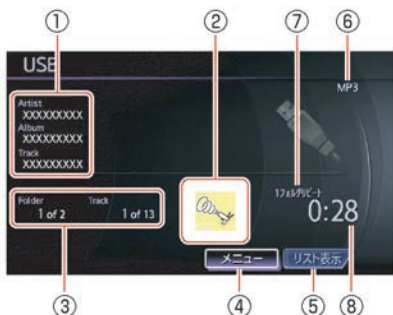
1 **USB**メモリを接続する

USBメモリ内に映像ファイルと音楽ファイルの両方がある場合は、選択画面が表示されます。再生したい方を選び、USBメモリ操作画面を表示します。

■ USBメモリ操作画面の見かた

TV・AUXスイッチを押すとUSB操作画面に切り替わります。スイッチを押すごとにモード(ソース)が切り替わります。

● オーディオ操作画面

曲情報画面

トラック選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／曲名を表示します。

② **イメージファイル**
画像ファイルがあるときに表示されます。（MP3のみ）

③ **フォルダ／トラックインデックス**
再生中の曲の入っているフォルダと全フォルダ数を表示します。または再生中の曲と全トラック数を表示します。

④ メニュー
プレイモードの切り替えをします。

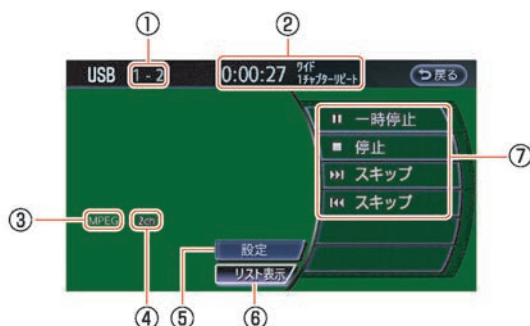
⑤ リスト表示
フォルダリストやファイルリストを表示します。 聞きたい曲やフォルダを選ぶと選んだ曲やフォルダが再生されます。

⑥ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。（iTunesで作成されたm4aのデータを再生しているときはAACと表示されます。）

⑦ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑧ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

● 映像操作画面

① **フォルダ／ファイル番号**

② **再生情報表示**
再生時間、画面サイズ情報、プレイモード情報が表示されます。

③ **音声フォーマット**
音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ 設定
音声や画質などの設定画面を表示します。

⑥ リスト表示
リストを表示します。

⑦ **操作メニュー**
▶再生／II一時停止
フォルダまたはファイルを再生します。
再生されているときは、再生を一時停止します。再度選ぶと再生を再開します。
■停止
再生を停止します。
▶▶I スキップ
次のフォルダまたはファイルへ進みます。
長くタッチすると早送りします。
I◀◀ スキップ
1回タッチすると、フォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

● リストから映像を選ぶ

アドバイス

- お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に
  - **視聴回数制限がある場合**
    本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、ディスクの挿入およびUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
  - **視聴回数制限がない（フリーの）場合**
    そのまま本機で視聴できます。

1 映像操作画面を表示して リスト表示 を選ぶ

2 リストから選ぶ

選んだ映像が再生されます。（※1）

（※1） 視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

イメージビューワー★

USBに保存した画像データをディスプレイ画面に表示します。

対応フォーマット ： JPEG（拡張子jpg.、jpeg.）

対応ファイルサイズ：2MB以下

対応サイズ：1536 × 2048ピクセル以下

- プログレッシブJPEG は表示しません。
- デジカメ等の電子機器でUSBケーブルを使った直接的な接続は使用できません。
- 対応していないフォーマット、サイズのときは画像は表示されません。
- ファイル名が長すぎる場合は省略される場合があります。

■ イメージビューワーを見る★

1 USBメモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.147

2 設定スイッチを押す

その他設定 → イメージビューワーを選ぶ

3 フォルダを選ぶ

テレビ・オーディオ

4 ファイルを選ぶ

選んだ画像が表示されます。
全画面表示でイメージビュー画面に切り替わります。

● 全画面表示

① **操作メニュー**

スライドショーを開始します。
設定を自動で変わらないにしていると再生は選択できません。

スライドショーを停止します。

次のファイルへ進みます。

前のファイルへ戻ります。

② **設定**

以下の設定をすることができます。

次のイメージに変わる時間
次のイメージに変わる時間を5秒、10秒、30秒、60秒から選択できます。
自動で変わらないを選択すると、画像は自動で切り替わりません。

イメージ表示の順番
リスト順、ランダムから選択できます